

## 電気電子・情報工学科 情報工学コース

コンピュータは、今や社会のあらゆる場所で用いられ、ネットワークによって相互に接続されることで、ますます高度化・複雑化しています。コンピュータの深い知識と理解を携えて、安全・安心な社会構築に貢献する便利な次世代情報システムを展望できる人材が社会から強く求められています。情報工学コースでは、コンピュータのハードウェア・ソフトウェア、およびネットワークの基礎理論と構築技法、さらに、コンピュータとネットワークの様々な最新技術を学び、これからの ICT 社会を切り開く技術者・研究者・教育者を目指します。

見学は計3回実施します。事前に整理券を配布しますので、整理券配布時刻に集合し、見学を希望する回の整理券を受け取ってください。見学時間になりましたら、整理券を持参の上、再度集合場所まで集まってください。ご参加をお待ちしています。

- ・ 集合場所 : IB 電子情報館南棟2階295演習室
- ・ 整理券配布開始時刻 : 10:45
- ・ 集合時刻 : 第1回 13:00、第2回 14:00、  
第3回 15:00  
(一回あたり70名、所用時間約60分)

### 情報工学コースの紹介

情報工学コースの修得内容に関する概要と大学院における最先端の研究について紹介します

「知能情報学」(長尾確 教授・松原茂樹 准教授・大平茂輝 助教)

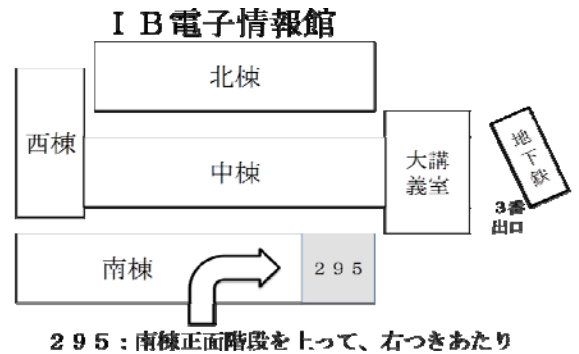
人間が日常的に行っている情報処理を、より高度に行う人工知能技術を研究開発しています。その一つの成果として、個人用の乗り物が障害物を避けながら自動的に走行する技術を実現しました。右の図のような、知能化された新しい乗り物に、搭乗者が目的地を入力すると、適切な経路を選択して、周囲の人や物にぶつからないように避けながら、安全に自動走行します。

その他には、次のような研究内容について紹介します。

- 乗り物と小型自律ロボットを連携させて遠隔地の映像を送る技術
- 映像コンテンツの特定のシーンを検索する技術
- テキストコンテンツを要約・翻訳する技術

「情報ユーザビリティ技術」(宮尾克 教授)

近年、情報技術が目覚ましく発展してきていますが、そんな中、人間と情報技術の調和を図るためには、人間の本来



の考え方や機能を明らかにした上での開発・応用が大切です。

当研究室では、「人間工学」と「情報技術」をキーワードとし、人間の特性に基づいたモノづくりやシステム、情報の提示方法や評価、さらにはユニバーサルデザインやバリアフリーの実現などに関する研究を行っています。また、多数の企業との共同研究にも力を入れており、自動車や3D映像、ケータイなどのユーザビリティを検証しています。

- 3D映像視聴時の視機能評価、見やすい3D映像の評価
- モバイル端末の使用性評価、弱視用の拡大教科書端末
- 高齢者に優しい自動車の人間工学、安全支援情報
- 多言語情報発信技術